

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第6423条 一般構造物予備設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>道路設計に伴い新たに一般構造物を新設する場合、地形・地質・立地条件等の基本条件と整合を図り、構造的・施工性・維持管理・経済性の観点から、以下に示す構造物毎に構造形式の比較検討を行い、最適形式と基本構造諸元を決定することを目的とする。なお4)の覆工に関して、受注者は設計図書により与えられる対象の覆工と荷重の規模に基づき実施するものとする。又、受注者は2)の擁壁・補強土工・U型擁壁及び、3)法面工に関して、すべり安定解析が必要となる場合にはその旨を調査職員に報告すると共に、指示を受けるものとする。</p> <p>1) 門型ラーメン・箱型函渠</p> <p>2) 擁壁・補強土工、U型擁壁</p> <p>3) 法面工(場所打ち法枠、アンカー付場所打ち法枠、吹付法枠工、アンカー付吹付法枠工、コンクリート吹付、張ブロック)</p> <p>4) 覆工(ロックシェッド、スノーシェッド、スノーシェルター)</p>	<p>第6423条 一般構造物予備設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>道路設計に伴い新たに一般構造物を新設する場合、地形・地質・立地条件等の基本条件と整合を図り、構造的・施工性・維持管理・経済性の観点から、以下に示す構造物毎に構造形式の比較検討を行い、最適形式と基本構造諸元を決定することを目的とする。なお4)の覆工に関して、受注者は設計図書により与えられる対象の覆工と荷重の規模に基づき実施するものとする。又、受注者は2)の擁壁・補強土・U型擁壁及び、3)法面工に関して、すべり安定解析が必要となる場合にはその旨を調査職員に報告すると共に、指示を受けるものとする。</p> <p>1) 門型ラーメン・箱型函渠</p> <p>2) 擁壁・補強土、U型擁壁</p> <p>3) 法面工(場所打ち法枠、アンカー付場所打ち法枠、吹付法枠工、アンカー付吹付法枠工、コンクリート吹付、張ブロック)</p> <p>4) 覆工(ロックシェッド、スノーシェッド、スノーシェルター)</p>

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第6424条 一般構造物詳細設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>詳細設計は、予備設計で決定された構造形式について設計図書、既存の関連資料及び予備設計で検討された設計条件に基づき、地形・地質・交差条件・荷重条件・使用材料等と整合を図り、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計し、工事発注に必要な図面・報告書を作成することを目的とする。対象とする構造物は以下のとおりであり、発注者は、設計対象工種を設計図書に指示する。なお4)覆工、5)雪崩予防施設については、受注者は設計図書に基づき与えられた荷重条件に従って業務を行うものとする。</p> <p>1) 函渠工・・・門型ラーメン、箱型函渠</p> <p>2) 擁壁・補強土工・・・逆T式擁壁、重力式擁壁、U型擁壁もたれ式擁壁、井桁式擁壁、大型ブロック積擁壁、補強土工</p> <p>3) 法面工・・・場所打ち法枠工、アンカー付き場所打ち法枠工</p> <p>4) 覆工・・・ロックシェッド、スノーシェッド、スノーシエルター</p> <p>5) 雪崩予防施設</p> <p>2. 業務内容</p> <p>(中略)</p> <p>(6) 設計計算</p> <p>受注者は、予備設計で決定された構造形式の主要構造寸</p>	<p>第6424条 一般構造物詳細設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>詳細設計は、予備設計で決定された構造形式について設計図書、既存の関連資料及び予備設計で検討された設計条件に基づき、地形・地質・交差条件・荷重条件・使用材料等と整合を図り、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計し、工事発注に必要な図面・報告書を作成することを目的とする。対象とする構造物は以下のとおりであり、発注者は、設計対象工種を設計図書に指示する。なお4)覆工、5)雪崩予防施設については、受注者は設計図書に基づき与えられた荷重条件に従って業務を行うものとする。</p> <p>1) 函渠工・・・門型ラーメン、箱型函渠</p> <p>2) 擁壁・補強土工・・・逆T式擁壁、重力式擁壁、U型擁壁もたれ式擁壁、井桁式擁壁、大型ブロック積擁壁、補強土</p> <p>3) 法面工・・・場所打ち法枠工、アンカー付き場所打ち法枠工</p> <p>4) 覆工・・・ロックシェッド、スノーシェッド、スノーシエルター</p> <p>5) 雪崩予防施設</p> <p>2. 業務内容</p> <p>(中略)</p> <p>(6) 設計計算</p> <p>受注者は、予備設計で決定された構造形式の主要構造寸</p>

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>法に基づき、設計図書において指示された設計条件に従い、安定計算及び断面応力度計算を実施する。また、下記工種は設計図書に記載がない限りすべり安定計算を行うものとする。なお、これによりがたい場合は調査職員と協議するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もたれ擁壁 ・井桁式擁壁 ・大型ブロック積擁壁 ・補強土工 ・場所打ち法枠工 ・アンカー付き場所打ち法枠工 	<p>法に基づき、設計図書において指示された設計条件に従い、安定計算及び断面応力度計算を実施する。また、下記工種は設計図書に記載がない限りすべり安定計算を行うものとする。なお、これによりがたい場合は調査職員と協議するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もたれ擁壁 ・井桁式擁壁 ・大型ブロック積擁壁 ・補強土 ・場所打ち法枠工 ・アンカー付き場所打ち法枠工

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第6801条 橋梁設計の種類 橋梁設計の種類は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 橋梁設計(2) 橋梁拡幅設計(3) 橋梁補強設計 <p>第 2 節 橋梁設計</p> <p>橋梁設計は、新規に橋梁を建設又は架替えるに際して実施する橋梁の設計に適用する。</p>	<p>第6801条 橋梁設計の種類 橋梁設計の種類は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 橋梁設計(2) 橋梁拡幅設計(3) 橋梁補強設計 <p>第 2 節 橋梁設計</p> <p>橋梁設計は、新規に橋梁を建設又は架替えに際して実施する橋梁の設計に適用する。</p>

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第6806条 橋梁拡幅予備設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁拡幅予備設計は、設計図書、既存の関連資料及び関連する基準等を基に、拡幅の目的に沿った上部工、下部工及び基礎工について拡幅方法・拡幅形式（以下「拡幅工法」と称する）の比較検討を行い、最適拡幅工法とその基本的な構造諸元を決定することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>（10）拡幅工法比較一覧表の作成</p> <p>受注者は、拡幅工法比較案に関する検討結果をまとめ、拡幅工法一覧表を作成するものとする。拡幅工法一覧表には、拡幅に関する部材の主要断面形状を記入するほか、（5）で実施した技術的特徴、課題を列記し、各比較案の評価を行い、最適拡幅工法案を明示するものとする。</p>	<p>第6806条 橋梁拡幅予備設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁拡幅予備設計は、設計図書、既存の関連資料及び関連する基準等を基に、拡幅の目的に沿った上部工、下部工及び基礎工について拡幅方法・拡幅形式（以下「拡幅工法」と称する）の比較検討を行い、最適拡幅工法とその基本的な構造諸元を決定することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p style="text-align: center;">（中略）</p> <p>（10）拡幅工法比較一覧表の作成</p> <p>受注者は、拡幅工法比較案に関する検討結果をまとめ、拡幅工法比較一覧表を作成するものとする。拡幅工法比較一覧表には、拡幅に関する部材の主要断面形状を記入するほか、（5）で実施した技術的特徴、課題を列記し、各比較案の評価を行い、最適拡幅工法案を明示するものとする。</p>

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第6807条 橋梁拡幅詳細設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁拡幅詳細設計は、予備設計で決定された拡幅工法について、設計図書、既存の関連資料及び予備設計で検討された設計条件に基づき、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計し、工事発注に必要な図面・報告書を作成することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(6) 設計図</p> <p>受注者は、既設部・新設部を明示した橋梁位置図、一般図、線形図、構造詳細図、構造一般図、支承、高欄、伸縮装置、排水装置等の詳細設計図を作成するものとする。</p>	<p>第6807条 橋梁拡幅詳細設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁拡幅詳細設計は、予備設計で決定された拡幅工法について、設計図書、既存の関連資料及び予備設計で検討された設計条件に基づき、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計し、工事発注に必要な図面・報告書を作成することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(6) 設計図</p> <p>受注者は、橋梁位置図、既設部・新設部を明示した一般図、線形図、構造詳細図、構造一般図、支承、高欄、伸縮装置、排水装置等の詳細設計図を作成するものとする。</p>

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第6809条 橋梁補強予備設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁補強予備設計は、設計図書、既存の関連資料及び関連する基準等を基に、補強の目的に沿った上部工、下部工あるいは基礎工について補強工法の比較検討を行い、最適補強工法とその基本的な構造諸元を決定することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p>橋梁補強予備設計の業務内容は、下記のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(2) 現地踏査</p> <p>受注者は、現地踏査について、第6803条橋梁予備設計第2項の(2)に準ずるものとする。なお、現地調査以降の記述については、省略するものとする。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(11) 補強工法比較一覧表の作成</p> <p>受注者は、補強工法比較案に関する検討結果をまとめ、補強工法一覧表を作成するものとする。補強工法一覧表には補強部材の主要部材断面形状を記入するほか、(6)で実施した技術的特徴・課題を列記し、各比較案の評価を行い、最適補強工法案を明示するものとする。</p>	<p>第6809条 橋梁補強予備設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁補強予備設計は、設計図書、既存の関連資料及び関連する基準等を基に、補強の目的に沿った上部工、下部工あるいは基礎工について補強工法の比較検討を行い、最適補強工法とその基本的な構造諸元を決定することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p>橋梁補強予備設計の業務内容は、下記のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(2) 現地踏査</p> <p>受注者は、現地踏査について、第6803条橋梁予備設計第2項の(2)に準ずるものとする。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>(11) 補強工法比較一覧表の作成</p> <p>受注者は、補強工法比較案に関する検討結果をまとめ、補強工法比較一覧表を作成するものとする。補強工法比較一覧表には補強部材の主要部材断面形状を記入するほか、(6)で実施した技術的特徴・課題を列記し、各比較案の評価を行い、最適補強工法案を明示するものとする。</p>

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第6810条 橋梁補強詳細設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁補強詳細設計は、予備設計で決定された補強工法について、設計図書、既存の関連資料及び比較設計で検討された設計条件に基づき、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計し、工事発注に必要な図面・報告書を作成することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p>橋梁補強詳細設計の業務内容は、下記のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>3. 貸与資料</p> <p>発注者が貸与する資料は下記を標準とする。</p> <p>(1) 既設橋梁位置図</p> <p>(2) 既設橋梁の設計成果</p> <p>(3) 橋梁補強予備設計成果</p> <p>(4) 道路線形計算書</p> <p>(5) 実測平面図</p> <p>(6) 地質調査報告書</p> <p>(7) 周辺施設(既設、計画)に関する資料</p> <p>(8) 橋梁補強予備設計等設計協議書</p>	<p>第6810条 橋梁補強詳細設計</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁補強詳細設計は、予備設計で決定された補強工法について、設計図書、既存の関連資料及び比較設計で検討された設計条件に基づき、工事に必要な詳細構造を経済的かつ合理的に設計し、工事発注に必要な図面・報告書を作成することを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p>橋梁補強詳細設計の業務内容は、下記のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">(中略)</p> <p>3. 貸与資料</p> <p>発注者が貸与する資料は下記を標準とする。</p> <p>(1) 既設橋梁位置図</p> <p>(2) 既設橋梁の設計成果</p> <p>(3) 橋梁補強予備設計成果</p> <p>(4) 道路線形計算書</p> <p>(5) 実測平面図</p> <p>(6) 地質調査報告書</p> <p>(7) 周辺施設(既設、計画)に関する資料</p> <p>(8) 橋梁補強予備設計等設計協議資料</p>

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行					改 定					
第6811条 成果品 受注者は、表6.8.1～表6.8.3に示す成果品を作成し、第1117条成果品の提出に従い、2部納品するものとする。 表6.8.1 橋梁設計成果品一覧表					第6811条 成果品 受注者は、表6.8.1～表6.8.3に示す成果品を作成し、第1117条成果品の提出に従い、2部納品するものとする。 表6.8.1 橋梁設計成果品一覧表					
設計種別	設計項目	成果品	縮尺	摘要	設計種別	設計項目	成果品	縮尺	摘要	
橋梁予備設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000～1:50,000	市販地図等	橋梁予備設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000～1:50,000	市販地図等	
		一般図	1:50～1:500				一般図	1:50～1:500		
		比較一覧表	-				比較一覧表	-		
	概算工事費	数量計算書	-	概略	概算工事費	数量計算書	-	概略		
		概算工事費	-			概算工事費	-			
	報告書	設計概要書	-	比較検討書等	報告書	設計概要書	-	比較検討書等		
		概略設計計算書	-	応力及び安定計算		概略設計計算書	-	応力及び安定計算		
		その他参考資料等	-			その他参考資料等	-			
	橋梁詳細設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000～1:50,000	市販地図等	橋梁詳細設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000～1:50,000	市販地図等
			一般図	1:50～1:500	橋種・設計条件・地質図 ポーリング位置等を記入			一般図	1:50～1:500	橋種・設計条件・地質図 ポーリング位置等を記入
線形図			適宜	平面・縦断・座標	線形図			適宜	平面・縦断・座標	
構造一般図			1:50～1:500		構造一般図			1:50～1:500		
上部工構造詳細図		1:20～1:100	主桁・横桁・対傾構・主構・床組・床版・支承・伸縮装置・排水装置・高欄防護柵・遮音壁・検査路等・製作キャンバー図・PC鋼材緊張順序等施工要領	上部工構造詳細図	1:20～1:100	主桁・横桁・対傾構・主構・床組・床版・支承・伸縮装置・排水装置・高欄防護柵・遮音壁・検査路等・製作キャンバー図・PC鋼材緊張順序等施工要領				
下部工構造詳細図		1:20～1:100	橋台・橋脚等	下部工構造詳細図	1:20～1:100	橋台・橋脚等				
基礎工構造詳細図		1:20～1:100	杭・ウィル・ケーソン等	基礎工構造詳細図	1:20～1:100	杭・ウィル・ケーソン等				
仮設工詳細図		適宜	仮締切・土留・仮橋等	仮設工詳細図	適宜	仮締切・土留・仮橋等				
数量計算		数量計算書	-	材料表・塗装面積 溶接延長等	数量計算	数量計算書	-	材料表・塗装面積 溶接延長等		
報告書		設計概要書	-		報告書	設計概要書	-			
	設計計算書	-		設計計算書		-				
	線形計算書	-		線形計算書		-				
	施工計画書	-	施工方法・特記事項等	施工計画書		-	施工方法・特記事項等			
	その他参考資料等	-	検討書	その他参考資料等		-	検討書			

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行

改 定

表6.8.2 橋梁拡幅設計成果品一覧表

表6.8.2 橋梁拡幅設計成果品一覧表

設計種別	設計項目	成果品	縮尺	摘要
橋梁拡幅予備設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	
		比較一覧表	-	
	概算工事費	数量計算書	-	概略
		概算工事費	-	
報告書	設計概要書	-	比較検討書等	
	概略設計計算書	-	応力及び安定計算	
	その他参考資料等	-		
橋梁拡幅詳細設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	橋種・設計条件・地質図 ボ-リング位置等を記入
		線形図	適宜	平面・縦断・座標
		構造一般図	1:50 ~ 1:500	
		上部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	主桁・横桁・対傾構・主構・床組・床版・ 支承・伸縮装置・排水装置・高欄防護柵・ 遮音壁・検査路等・製作キャンバー図・PC 鋼材緊張順序等施工要領
		下部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	橋台・橋脚等
		基礎工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	杭・ウィル・ケーソン等
		仮設工詳細図	適宜	仮締切・土留・仮橋等
	数量計算	数量計算書	-	材料表・塗装面積 溶接延長等
	報告書	設計概要書	-	
		設計計算書	-	
線形計算書		-		
施工計画書		-	施工方法・特記事項等 検討書	
その他参考資料等		-		

設計種別	設計項目	成果品	縮尺	摘要
橋梁拡幅予備設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	
		比較一覧表	-	
	概算工事費	数量計算書	-	概略
		概算工事費	-	
報告書	設計概要書	-	比較検討書等	
	概略設計計算書	-	応力及び安定計算	
	その他参考資料等	-		
橋梁拡幅詳細設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	橋種・設計条件・地質図 ボ-リング位置等を記入
		線形図	適宜	平面・縦断・座標
		構造一般図	1:50 ~ 1:500	
		上部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	主桁・横桁・対傾構・主構・床組・床版・ 支承・伸縮装置・排水装置・高欄防護柵・ 遮音壁・検査路等・製作キャンバー図・PC 鋼材緊張順序等施工要領
		下部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	橋台・橋脚等
		基礎工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	杭・ウィル・ケーソン等
		仮設工詳細図	適宜	仮締切・土留・仮橋等
	数量計算	数量計算書	-	材料表・塗装面積 溶接延長等
	報告書	設計概要書	-	
		設計計算書	-	
線形計算書		-		
施工計画書		-	施工方法・特記事項等 検討書	
その他参考資料等		-		

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行

表6.8.3 橋梁補強設計成果品一覧表

設計種別	設計項目	成果品	縮尺	摘要
橋梁補強予備設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	
		比較一覧表	-	
	概算工事費	数量計算書	-	概略
		概算工事費	-	
	報告書	設計概要書	-	比較検討書等
概略設計計算書		-	応力及び安定計算	
その他参考資料等		-		
橋梁補強詳細設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	橋種・設計条件・地質図 ポーリング位置等を記入
		線形図	適宜	平面・縦断・座標・適宜
		構造一般図	1:50 ~ 1:500	
		上部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	主桁・横桁・増桁対傾構・主構・床組・ 床版補強・桁連結・PC鋼材緊張順序等施工 要領
		下部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	沓座拡幅・橋脚巻立
		基礎工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	橋台・橋脚基礎補強
		仮設工詳細図	適宜	仮締切・土留・仮橋等
	数量計算	数量計算書	-	材料表・塗装面積 溶接延長等
	報告書	設計概要書	-	
		設計計算書	-	
		線形計算書	-	適宜
		施工計画書	-	施工方法・特記事項等
その他参考資料等		-	検討書	

改 定

表6.8.3 橋梁補強設計成果品一覧表

設計種別	設計項目	成果品	縮尺	摘要
橋梁補強予備設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	
		比較一覧表	-	
	概算工事費	数量計算書	-	概略
		概算工事費	-	
	報告書	設計概要書	-	比較検討書等
概略設計計算書		-	応力及び安定計算	
その他参考資料等		-		
橋梁補強詳細設計	設計図	橋梁位置図	1:25,000 ~ 1:50,000	市販地図等
		一般図	1:50 ~ 1:500	橋種・設計条件・地質図 ポーリング位置等を記入
		線形図	適宜	平面・縦断・座標・適宜
		構造一般図	1:50 ~ 1:500	
		上部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	主桁・横桁・増桁対傾構・主構・床組・ 床版補強・桁連結・PC鋼材緊張順序等施工 要領
		下部工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	沓座拡幅・橋脚巻立
		基礎工構造詳細図	1:20 ~ 1:100	橋台・橋脚基礎補強
		仮設工詳細図	適宜	仮締切・土留・仮橋等
	数量計算	数量計算書	-	材料表・塗装面積 溶接延長等
	報告書	設計概要書	-	
		設計計算書	-	
		線形計算書	-	適宜
		施工計画書	-	施工方法・特記事項等
その他参考資料等		-	検討書	

土木設計業務等共通仕様書_道路編 新旧対照表

現 行	改 定
<p>第3節 橋梁定期点検</p> <p>橋梁定期点検は、「橋梁定期点検要領(案)(平成26年6月 国土交通省道路局 国道・防災課)」、「道路橋点検要領(案)(平成27年3月 兵庫県県土整備部)」(以下、「定期点検要領」という。)に基づき実施する定期点検に適用する。</p> <p>第6811条 成果品</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁定期点検は、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るための橋梁に係る維持管理を効率的に行うために必要な基礎資料を得ることを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p>橋梁定期点検の業務内容は下記のとおりとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(8) 報告書作成</p> <p>受注者は、業務の成果として、第1211条調査業務及び計画業務の成果に準じて報告書を作成するものとする。</p>	<p>第3節 橋梁定期点検</p> <p>橋梁定期点検は、「橋梁定期点検要領(平成26年6月 国土交通省道路局 国道・防災課)」、「道路橋点検要領(案)(平成27年3月 兵庫県県土整備部)」(以下、「定期点検要領」という。)に基づき実施する定期点検に適用する。</p> <p>第6811条 成果品</p> <p>1. 業務目的</p> <p>橋梁定期点検は、安全で円滑な交通の確保、沿道や第三者への被害の防止を図るための橋梁に係る維持管理を効率的に行うために必要な基礎資料を得ることを目的とする。</p> <p>2. 業務内容</p> <p>橋梁定期点検の業務内容は下記のとおりとする。</p> <p>(中略)</p> <p>(8) 報告書作成</p> <p>受注者は、業務の成果として、第1210条調査業務及び計画業務の成果に準じて報告書を作成するものとする。</p>